

フォローアップ研修「伊吹山の自然観察」 自然観察サークルブログ



美しく咲き誇るシモツケソウの群落。驚いたことに、ここはシモツケソウ再生地なのだそうです。「伊吹山もりびとの会」のガイドさんの話では近年山頂草原植物群落の植物のバランスが変わってアカソとテンニンソウが異常に広がってたくさんあったシモツケソウなどの植物が衰退しているということでした。山頂草原植物群落の植物相を再生するために柵の中のアカソやテンニンソウを取り除いたのだそうです。話を伺って、甘樫丘のネザサを取り除く作業を思い出しました。人々が自然とかかわって里山を維持していく作業があつてこそ、生き物の多様性のある美しい里山が残っていくのだという事を再認識しました。

フォローアップ研修は7:30 公園館を出発して、好天の中、交通渋滞もなくスムーズに伊吹山の駐車場につきました。バスの中で昼食を取って、12:00 頃4班に分かれて観察が始まりました。



黄色い花はメタカラコウ。様々な花が咲き乱れる中を山頂目指して進みました。途中、アカソの多いのが目につき、あまりに多くなっていることに驚きました。頂上前のシモツケソウ再生地で「もりびとの会」のガイドさんにお話を聞いて昔からの風景を維持することはなか



なか大変ななだと思いました。

アカソは多かったけれど他の花々もまだまだ多く、緑の中に色とりどりの花を咲かせていました。

観察した花



アカソ



クガイソウ



ヒメフウロ



メタカラコウ



キノタソウ



クサフジ



オトギリソウ



トモエソウ



クルマバナ



イブキトラノオ



キンバイソウ



キリンソウ



カワラナデシコ



コオニユリ



イブキコアザミ





イブキフウロ



ツリガネニンジン



ハタザオ



シュロソウ



ウバユリ



アカタテハ



ルリトラノオ



ヤマホタルブクロ



シシウド



シモツケソウの群落



イブキコアザミとシモツケソウ  
とキマダラセセリ



イブキジャコウソウ

伊吹山の爽やかな風を受け、花々を心ゆくまで観察し、豊かな気持ちになって帰路につきました。